

令和2年度 学校自己評価（教職員・保護者）結果

北九州市立八幡西特別支援学校
校長 山田 浩司

（教育目標）

病気や障害のある児童生徒にその特性と能力に応じた教育を実施し、可能な限り社会参加・自立を目指し、生涯にわたって生きがいをもって生活できるよう、個性を伸ばし、生きる力の育成を図る。

1 教職員回答

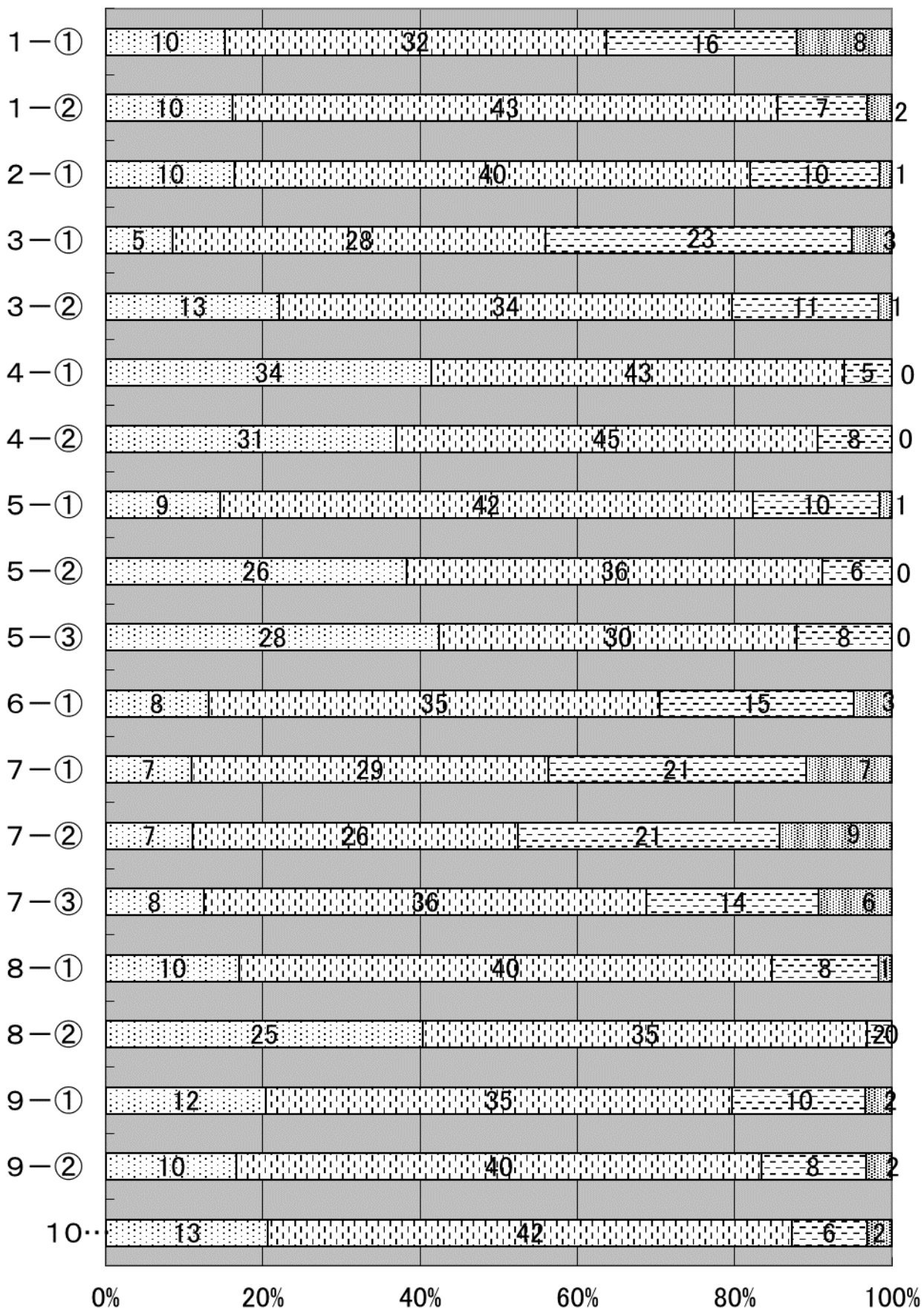
(1) 今年度の結果（H30年度からの経過）

A 十分達成している B ほぼ達成している C やや達成できていない D 達成できていない

項目	内 容	A Bの割合%（ ）内はC D		
		H30	R1	R2
1-①	教職員が組織として協働して課題解決を図ることができている。	74(26)	78(22)	64(36)
1-②	各校務分掌で前年度の反省を生かし、目的や業務内容の点検・改善が行われている。	91(9)	86(14)	85(15)
2-①	児童生徒一人一人に対する教育実践から成果と課題を明確にし、指導改善を図っている。	79(21)	79(21)	82(19)
3-①	キャリア教育の視点に立った進路指導の全体計画に基づき小～高の一貫した指導が進められている。	47(53)	53(47)	56(44)
3-②	児童生徒が主体的に進路を選択できるよう、関係機関や家庭との連携が図られている。	76(24)	74(26)	80(20)
4-①	施設設備の安全点検が定期的実施された。	97(3)	97(3)	94(6)
4-②	施設設備の衛生面・安全面に十分配慮している。	90(10)	81(19)	90(10)
5-①	学校管理マニュアルは、児童生徒・学校の実態に即した実践的なものとなっている。	88(12)	89(11)	82(18)
5-②	児童生徒の健康・安全に十分配慮した教育活動を実施している。	88(12)	92(8)	91(9)
5-③	児童生徒の個人情報保護等、情報管理は適切に行われた。	93(7)	94(6)	88(12)
6-①	支援部を核とした校内支援体制で、相談事例の課題解決に向けた具体的支援が行われた。	80(20)	82(18)	70(30)
7-①	日々の教育実践に、地域の教育力を計画的・効果的に活用できている。	72(28)	61(39)	56(44)
7-②	地域との交流及び連携を進めていることができている。	95(5)	75(25)	52(48)
7-③	授業公開や学校ホームページ、掲示、展示の工夫などにより、積極的に情報発信を行っている。	69(31)	70(30)	69(31)
8-①	個別の教育支援計画や個別移行支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、活用している。	86(14)	81(19)	85(15)
8-②	学部・学年通信などで、保護者に学校の情報を提供しているか。	91(9)	97(3)	97(3)
9-①	校内研修は、専門性（自立活動等）を高めるものになっている。	86(14)	80(20)	80(20)
9-②	専門医等臨床研修や授業研究など研修の成果は授業の指導改善に生かされている。	93(7)	89(11)	83(17)
10-①	学校経営案に示す重点目標は適切であった。	96(4)	95(5)	87(13)

令和2年度学校自己評価(教職員)

□A □B □C □D



2 保護者回答

(1) 今年度の結果（H30年度からの経過）

A 十分達成している B だいたい達成できている C やや達成できていない D 全く達成できていない

	評価項目	ABの割合% ()内はCD		
		H30	R1	R2
1	子ども一人一人に応じた学習指導ができている。	90(10)	95(5)	100(0)
2	子ども一人一人に応じた進路指導ができている。	88(12)	89(11)	96(4)
3	学校は、衛生面・安全面に十分配慮している。	85(15)	88(12)	95(5)
4	子ども一人一人の健康・安全に配慮した教育活動をしている。	87(13)	95(5)	98(2)
5	学校は、地域と連携した教育活動をしている。	92(8)	89(11)	94(6)
6	学校は、授業公開等、開かれた学校づくりをしている。	93(7)	91(9)	91(9)
7	子どもの指導について、家庭や関係機関と密に情報交換している。	90(10)	95(5)	93(7)
8	学部・学年通信や連絡帳などから、学校の様子が分かる。	95(5)	93(7)	100(0)
9	学校は、前年度の反省を今年度に生かしている。	82(18)	89(11)	100(0)

令和2年度学校自己評価(保護者；回答58人)

